

金秀鉄工
～鋼橋仮組見学～

平成28年7月20日

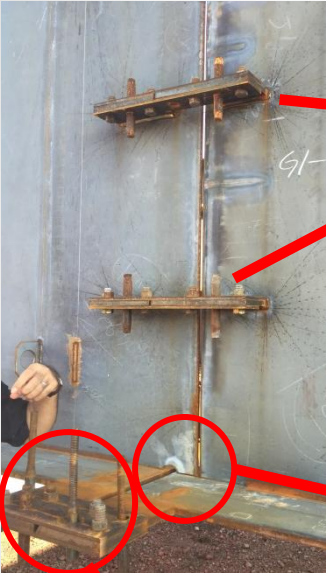
～橋の全体写真～

今回見学させていただいたのは
現場で本当に鋼橋が設置できるか
確かめるための「**仮組**」といわれる
段階でした。



橋の外側の 「ココ」がポイント！！

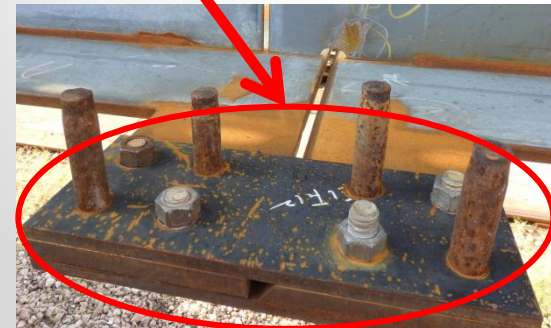
溶接ではかなり高温になるため
変形しないように
板で補強をしています。
溶接が終わると切り取られます。



メンテナンス時、
人が通れるための
穴が開いています。

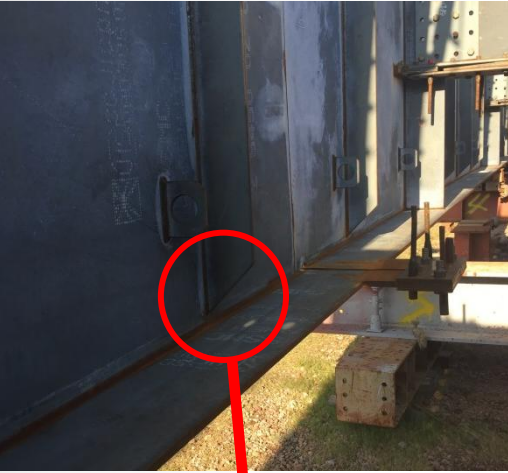


溶接部が交差すると
橋の弱点になってしまうため
あえて交差しないように工夫
されています。



「エンドタブ」という名前です。
これも溶接部が弱点にならないように
工夫されています。
これも溶接が終わると切り取られます。

橋の内側の「ココ」がポイント！！



塗装がはがれにくいように、
また溶接が簡単になるようにするために
あえて斜めに切断してあります。



力がかかる場所によって補剛材が
ついてる場所が違います。



緻密な計算の上でボルトをつける位置や数が変わってきます。仮組なので必要最低限しかボルトはつけません。

～図面を用いての講習風景～



～終わり～

金秀鉄工様ありがとうございました。

